

第53期 中間報告書

平成25年1月1日から平成25年6月30日まで



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成25年6月30日をもちまして、第53期事業年度の第2四半期累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年9月



代表取締役社長
尾崎 敦史



事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待から円安と株式市場の回復が進み、輸出関連企業を中心に景気の回復が一部で見られるものの、長期化する欧州債務危機問題や新興国経済の減速等の影響を受けるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業にあつては、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、また、食品業界や一般小売業にあつても原材料の価格高騰など、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で、当社は、2月に開催された第41回国際ホテル・レストランショーに、省エネ機器、業界初のスライド扉冷蔵庫、小型アンダーカウンタータイプ食器洗浄機、ブラストチラー、低温保存庫を出展しました。特に業界初のスライド扉冷蔵庫は量産化をスタートし、戦略商品の拡販やその他の新規市場への積極的な営業活動を展開し、業績の維持向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高13,467百万円、営業利益2,347百万円、経常利益2,377百万円、四半期純利益2,168百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、金融緩和等の経済政策による円安傾向や株価上昇など景気回復が期待されながらも、欧州債務危機問題や近隣諸国の動向など、国内外での懸念材料があり、景気の先行きは依然として予断を許さない厳しい経営環境が続くと思われまます。

このような環境の下、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発に繋げ、新市場の創造・新規顧客の開拓に取り組むとともに、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいる所存であります。

なお、中間配当金につきましては、前期同様1株につき5円とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別	当第2四半期会計期間	前 期	期 別	当第2四半期会計期間	前 期
科 目	平成25年6月30日現在	平成24年12月31日現在	科 目	平成25年6月30日現在	平成24年12月31日現在
流 動 資 産	41,847	41,624	流 動 負 債	7,173	6,498
現金及び預金	35,123	35,466	支払手形及び買掛金	3,086	2,671
受取手形及び売掛金	3,368	3,348	未払法人税等	514	1,091
商品及び製品	1,680	1,118	引 当 金	337	317
仕 掛 品	278	238	そ の 他	3,235	2,417
原材料及び貯蔵品	378	326	固 定 負 債	2,163	2,150
点検修理用部品	218	217	退職給付引当金	1,084	1,092
そ の 他	810	917	役員退職慰労引当金	1,072	1,054
貸倒引当金	△ 11	△ 8	そ の 他	6	3
固 定 資 産	13,628	11,246	負 債 合 計	9,337	8,648
有形固定資産	7,818	7,562	純資産の部		
無形固定資産	56	66	株 主 資 本	46,144	44,235
投資その他の資産	5,754	3,617	資 本 金	9,907	9,907
投資有価証券	636	640	資 本 剰 余 金	9,867	9,867
関係会社株式	-	390	利 益 剰 余 金	26,555	24,644
そ の 他	5,229	2,622	自 己 株 式	△ 186	△ 183
貸倒引当金	△ 111	△ 34	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 5	△ 13
資 産 合 計	55,476	52,871	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 5	△ 13
			純 資 産 合 計	46,138	44,222
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	55,476	52,871

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(当第2四半期会計期間)

2. 有形固定資産の減価償却累計額

12,024百万円

3. 当社は、平成25年1月1日を効力発生日として連結子会社（株式会社トーニチ）の吸収合併により、連結対象会社が存在しなくなったため、第1四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成していません。

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第2四半期累計期間
		平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで
売 上 高		13,467
売 上 原 価		5,104
売 上 総 利 益		8,363
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6,016
営 業 利 益		2,347
営 業 外 収 益		102
受 取 利 息		6
受 取 配 当 金		7
ス ク ラ ッ プ 売 却 益		32
そ の 他		54
営 業 外 費 用		71
ス ク ラ ッ プ 処 分 費		29
そ の 他		41
経 常 利 益		2,377
特 別 利 益		139
固 定 資 産 売 却 益		3
投 資 有 価 証 券 売 却 益		2
抱 合 せ 株 式 消 滅 差 益		133
特 別 損 失		3
固 定 資 産 除 却 損		1
投 資 有 価 証 券 売 却 損		1
税 引 前 四 半 期 純 利 益		2,513
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		471
法 人 税 等 調 整 額	△	126
法 人 税 等 合 計		345
四 半 期 純 利 益		2,168

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、前第2四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を開示しておりましたが、平成25年1月1日を効力発生日とした連結子会社（株式会社トーニチ）の吸収合併により、連結対象子会社が存在しなくなったため、第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していません。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第2四半期累計期間
		平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	1,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	259
現金及び現金同等物の増減額		262
現金及び現金同等物の期首残高		31,666
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額		394
現金及び現金同等物の四半期末残高		32,323

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末と比べて657百万円増加の32,323百万円となりました。これは、営業活動で得た資金を投資活動や財務活動に充てた結果、資金が262百万円増加したことと、連結子会社との合併による影響で資金が394百万円増加したことによるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、2,362百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益2,513百万円、未払費用の増加870百万円が、法人税等の支払額1,046百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、1,840百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出4,000百万円が、定期預金の払戻による収入2,500百万円を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、259百万円となりました。これは主に、配当金の支払額256百万円であり、

ノンフロン[®]のシクロペンタンと インバータ制御を採用した 環境にやさしい冷蔵庫

省エネと
静音性を
実現!!

ノンフロン断熱

当社では業界に先駆け、本体・扉の断熱材は発泡剤にシクロペンタンを採用しノンフロン化を実現しました。特に縦型冷蔵庫には業界初として2007年から採用しています。廃棄製品の冷媒回収と併せてノンフロン100%を目指します。

今後さらに多くの製品に採用することで、地球環境を大切にする最良の業務用冷蔵庫・ショーケースをご提供します。

高断熱構造BOX

新開発の省エネBOXは庫内の冷熱の庫外板金への伝導を遮断。

また、庫内への熱浸入を防止する樹脂コーナーを各所に配置することで冷却ロスを防ぎ、より効率的な運転が可能になりました。

インバータ制御

圧縮機と庫内ファン・凝縮ファンを高精度にインバータ制御し、省エネ・省コストを実現しました。冷凍冷蔵庫は冷凍・冷蔵ともに圧縮機をインバータ制御。



Daiwa ECO SPIRIT



“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。
より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、
日々進化を続けてまいりました。

21世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」
のステップを確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、
「トータル力」で提供してまいります。



オゾン層保護

- ・ HFC冷媒
- ・ ノンフロン断熱
- ・ フロン回収システム

衛生管理

- ・ クリアコートステンレス
- ・ 抗菌剤
- ・ 防カビ剤
- ・ 庫内アール加工

高機能・高付加価値

- ・ 電子式鮮度保持 [鮮度くん]
- ・ 静音設計 [DCファンモータ・インバータ制御]
- ・ センターノンピラー冷蔵庫 / 冷凍庫
- ・ 高湿氷温庫 ・ 急速凍結庫

省エネ・省コスト

- ・ インバータ制御
- ・ 節水制御
- ・ DCファンモータ
- ・ 高断熱構造
- ・ 新マイコン
- ・ NHガラス
- ・ 低消費電力化

安心・安全

- ・ アラーム機能
- ・ 漏電ブレーカー
- ・ 診断機能
- ・ サービスネットワーク

TOTAL
SOLUTIONS



2013年の主な新製品

業界初※

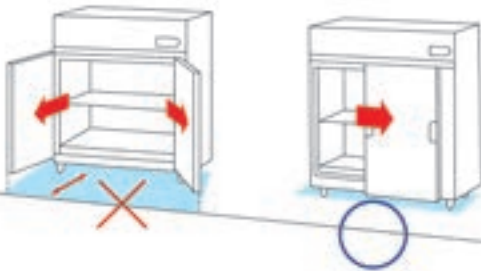
インバータ制御スライド扉冷蔵庫 エコ蔵くん



扉開閉イメージ

インバータ制御

約**64%**
省エネ



使用スペースが従来の1/2に。

左右に開閉するスライド扉により、狭い通路でも収容物の出し入れが可能。今まであきらめていた場所への設置が可能。

冷蔵庫に加えて、業界初となる冷凍冷蔵庫・冷凍庫・インバータ制御冷蔵庫をラインナップ。

※スライド扉冷蔵庫でのインバータ採用、及び冷凍庫・冷凍冷蔵庫において

ブラストチラー / ショックフリーザー



調理後の食品を急速冷却することで、菌の繁殖しやすい温度帯をすばやく通過させながら料理の風味をそのまま封じ込めます。

食の安心・安全を守りながら作業効率のアップを実現しました。

小型アンダーカウンタータイプ 食器洗浄機 エコ洗くん



業界トップクラスの省コスト&省スペース。使いやすさを追求した業務用食器洗浄機エコ洗くんに奥行450mmの小型アンダーカウンタータイプが登場。これまであきらめていた狭いスペースへの設置が可能。

アンダーカウンタータイプ 製氷機



インバータ凝縮ファン+DCポンプを採用、節水制御を高度化し、消費電力・消費水量の大幅な削減を実現。

75kg アンダーカウンタータイプが新登場。

会社の概況

平成25年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式335,680株を含む）
中間期末株主総数	3,488名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,078名
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理・ 冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理・ 厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理・ 店舗・厨房の企画、設計および施工

役員

平成25年6月30日現在

代表取締役会長……	尾崎	茂
代表取締役社長……	尾崎	敦史
常務取締役……	杉田	壽宏
常務取締役……	小野	文男
取締役……	三浦	明
取締役……	西久保	博康
取締役……	尾崎	雅広
取締役……	工藤	哲郎
常勤監査役……	大津加	一治
監査役……	日下	敏彦
監査役……	小野	芳明

(注) 取締役 西久保博康氏は社外取締役であります。

監査役 日下敏彦、小野芳明の両氏は、社外監査役であります。

執行役員

平成25年6月30日現在

社長執行役員……	尾崎	敦史
常務執行役員……	杉田	壽宏
常務執行役員……	小野	文男
執行役員……	三浦	明
執行役員……	尾崎	雅広
執行役員……	工藤	哲郎
執行役員……	江村	祥一
執行役員……	那須	元和
執行役員……	平出	和茂
執行役員……	高橋	稔
執行役員……	川村	常男
執行役員……	中津留	彰伸

株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主總會

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

特別口座の口座管理機関連絡先

大阪府中央区伏見町3丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券

代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.drk.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

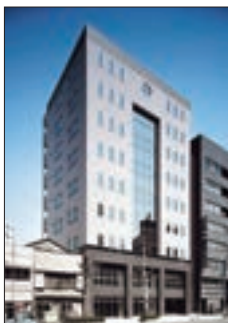
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク。

全国をサービス・メンテナンス・最新情報の高感度アンテナとしてネットワーク。よりきめ細かく、スピーディに対応します。



大阪本社



東京本社

北越サービスセンター
中部サービスセンター
23拠点

中国サービスセンター
四国サービスセンター
20拠点



福岡工場



佐伯工場

北九州サービスセンター
中九州サービスセンター
南九州サービスセンター
30拠点

京滋サービスセンター
大阪サービスセンター
阪神サービスセンター
36拠点



関東大利根工場

東北・北海道サービスセンター
10拠点

関東サービスセンター
埼玉サービスセンター
南関東サービスセンター
33拠点

北東京サービスセンター
南東京サービスセンター
21拠点

神奈川サービスセンター
西関東サービスセンター
20拠点